

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	商店街（代表者）	・年末12月27日まで全国旅行支援が続くとのことで、例年途絶える時期の観光客に、期待が持てる。
	○	コンビニ（経営者）	・年末年始に向けて、動きが多少良くなる。若干の販売増加も見込めるので、やや良くなるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えて大変だが、国が行動制限をかけない限り、景気は良くなっていく。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・段々、行動制限が解除されて、新型コロナウイルス感染症の飲み薬が出たという報道もある。徐々にコミュニケーションが取れるようになると、人も動いてくるのではないかと。少し明るい展望は持っているが、不確定要素もあるので、難しいところではあるが、現状から一層の緩和がされれば、良くなるのではないかと期待している。
	○	高級レストラン（経営者）	・年末年始を迎え、人流は増えてくると思われる。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているが、軽症者が多い傾向と感染対策の徹底で、以前よりは、新型コロナウイルス感染症に対して、びくびくしなくなっている。飲み薬の承認が、更なる後押しになれば良いと思っている。
	○	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らないと、良くはならないが、3か月先なら減ってきていると思う。また、競合店が何軒も閉店したため、意外と客は来ている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・先の予約状況は悪くなく、大人数での利用予約も入ってきている。全国旅行支援が終了に向かうなかで、利用者数は減少傾向と思われるが、大人数の予約案件が実施されれば、大幅にプラスに転じる状況である。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・本来なら、年末年始の繁忙期に入るが、今年は物の値上がりや新型コロナウイルスの感染拡大と、条件が余り良くないのではないかと。期待はできないのではないかと。
	□	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況や商材価格の値上げ等を含めて、良くなる材料が見当たらない。
	□	百貨店（店長）	・このところ、余り変動のない売上が続いている。大きく変動するような勢いも見られない。催事等も変更なく、また、新型コロナウイルス感染症にも慣れてきて、来客数も変わりがない。しばらくは変わらないのではないかと。
	□	スーパー（経営者）	・取りあえず、新型コロナウイルスの感染第8波の影響で好調だが、単価上昇や光熱費、配送費の負担増が懸念される。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第8波で、当地域ではいまだにイベントが再開されない。早く新型コロナウイルス感染症をインフルエンザと同じような扱いにしてもらいたい。
	□	コンビニ（経営者）	・客が実感できるような物価低下か消費税減税がなければ、改善しない。
	□	コンビニ（経営者）	・クリスマスもあるので一時は売上は上がると思うが、1月には下がるので、ほぼ変わらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・減税の実施や金融緩和が継続すれば消費は拡大するが、政府にはそのつもりがないようなので、変わらない。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が大分増えてきているが、周辺の環境は特別変わらない気がする。今後のイベント関係で若干変わってくるかもしれないが、その程度の変化で余り変わらない。また、円安にも大分皆が慣れてしまっているので、大きな変化はない。
	□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大や政界情勢の不安等、懸念材料が多いので、変わらない。
	□	乗用車販売店（経営者）	・新車需要は回復傾向にあるが、供給不足の急激な解消は見込めない。また、新型コロナウイルスの新規感染者数増加次第で、来客数減少の懸念もある。
□	自動車備品販売店（従業員）	・再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、来客数の増加が期待できない。	

□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の動きが、同じ波形を描いているので、2～3か月先も現状と同じだと思う。良くなる可能性としては、物価が少しでも安定するかあるいは下がることではないか。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くなってほしくないということである。本当に新型コロナウイルス感染症には痛撃を受けており、困っている。
□	スナック（経営者）	・本来なら忘年会シーズンに入ってくる頃なので、売上もかなり期待できる。ただ、新型コロナウイルスの感染第8波等もあり、皆が大分緊張感を持っているので、なかなか大人数での忘年会は期待できそうもなく、前年と同じように自粛ムードがまた続くのかと考えると、余り期待はしていない。
□	タクシー運転手	・このところの当市の新型コロナウイルスの感染状況をみると少しずつ増えており、死亡者数も徐々に増えているので、今後はどうなるか分からない。心配な状態が続く。
□	通信会社（社員）	・現状のままでは、好転するとは思えない。年末年始の特需に期待したい。
□	観光名所（職員）	・物価高騰の割に収入は変わらないため、消費を控えてしまう。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・まだ、原油等の価格が高騰している。人件費、電力価格も上がっており、大変不安である。
□	設計事務所（職員）	・仕事量が多く、完了までの日数が増えている。
▲	商店街（代表者）	・撤退の報道や閉店の話が絶えない。
▲	商店街（代表者）	・スポーツ用品業界でも、全ての商材が値上がりしている。当店では、来春入学する生徒向けの学校販売を主にやっているが、来店する親は「本当に無駄なお金は使えない」と言っており、上下1組以外に買う人が少ない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・クリスマス、お正月と、消費は増えると思うが、商材価格の値上げに伴い、消費者の購買意欲は冷え込む。消費意欲をかき立てるものもなく、一段と厳しい状況がうかがえる。
▲	百貨店（営業担当）	・基本となる日用品、食料品等や光熱費関係の値上がりで、一般庶民は非常に厳しい。現状は2極化していて、富裕層の購買力は依然として好調であるが、庶民は今一つ消費に積極的なところはみられず、かなり慎重になっている。
▲	スーパー（副店長）	・灯油代や電気代の高騰に物価高の影響で、節約意識が高まると予想する。
▲	観光型旅館（経営者）	・今月は全国旅行支援のお陰で新型コロナウイルス感染症の発生前の水準まで回復したが、3か月先は全国旅行支援がどうなるか不明なため、現状よりもやや悪くなる。また、インバウンドもコロナ前の水準までは回復しないと考えているため、現状よりもやや悪くなる。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が12月27日まで延長になったが、12月からの冬場の天候を考えると、県外客は少しずつ減っていく。また、忘新年会シーズンだが、特に、忘年会は新型コロナウイルスの感染第8波の影響を受けており、開催を差し控える企業がある。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援の終了で、やや悪くなる。
▲	旅行代理店（副支店長）	・全国旅行支援が継続されても、物価上昇や燃料価格高騰、光熱費の値上がり等、消費を抑える傾向が見える。また、新型コロナウイルスの感染状況が悪化していることも重なり、客足が鈍くなっている。このままの状態が続けば、確実に景気は後退するのではないか。
▲	ゴルフ場（経営者）	・物価高に耐えられなくなる企業が出てくるのではないか。その上、金利上昇等になれば経済は冷え込んでしまう。
▲	住宅販売会社（経営者）	・建設資材の大幅な値上がり等により建築価格が上昇し、別荘の新築工事は減少傾向にある。
×	一般小売店〔薬〕（経営者）	・物価高、エネルギー不足等があり、中小零細企業は疲弊している。是非、政府で経済政策を打ち出して、景気浮揚に尽力してもらいたい。特に、商店街等は疲弊している。何とか施策を強く打ち出してもらって、地方自治体とも一緒になりながら、頑張っていきたい。
×	衣料品専門店（経営者）	・注文服は期待できないし、サイズ修理等の仕事がほんの少しあるだけである。
×	衣料品専門店（経営者）	・物価高が解消しない限り、この状況が続く。

	×	その他レジュー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症以外に、光熱費の高騰が今後の心配要因である。物価上昇等、レジューに使えるお金は、どんどん減っている。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。
	◎	建設業（経営者）	・建設資材の高騰はまだしばらく続く。納期が不規則で苦勞する上に、客のことも考えてしまう状況である。
	○	食料品製造業（営業統括）	・円安に伴い、東南アジアへの輸出が進んでいる。特に、ハイクオリティワインに注力しており、今後に期待できる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・材料がいつまで続くか懸念されるものの、先行きが見込める受注が増えている。
	□	食料品製造業（総務担当）	・エネルギー関連のコスト上昇分は我慢するしかない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・クリスマス前やワークショップの予約には期待感が持てるが、製品受注に関しては、冬場の谷間になるので、対策を講じているものの、経営は非常に厳しい。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・物価上昇の影響で、耐久消費財への支出が控えられることへの懸念がある。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・相変わらず、部品不足や遅延等、調達が困難である。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・商材は動くようになってきているものの、円安の影響で、仕入価格が高騰している。材料の仕入れや商材作りが思うようにできないことから、大きな伸びは期待できず、回復はまだしばらく先になる。
	□	金融業（経営企画担当）	・物価上昇により、消費者の購買意欲が低下している。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・不安材料であるロシアとウクライナの情勢、原油高騰、円安等の解消は、どうなるか分からない。また、新型コロナウイルスの感染状況も高止まりしており、経済活動を進めていく方向にはなっているが、いまだに旅行等の自粛もあり、一般消費者を含めて安心した生活を送れる状況とは言えない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・コロナ禍ではあるものの、人が動きだしている。ただし、感染状況を見ながら店を閉めたり営業時間を短縮したりしている影響か、発注量は三分の一になっており、飲食業はとてつもない厳しいようである。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今後、紙代などで3回目の値上げがあるという話が来ている。そうすると、かなり厳しい状況になる。
	▲	金融業（調査担当）	・製造業の受注は底堅いものの、中国上海の新型コロナウイルス感染再拡大の影響が、生産面にも波及する可能性があり、慎重な意見も聞かれる。観光面でも、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念されている。
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。	
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—
	○	求人情報製作会社（総務担当）	・経済が動いているため、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・ボーナス支給の時期だが、貯蓄せずに消費に向いてくれば良いと思っている。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第8波の拡大が騒がれてきており、また、ロシアによるウクライナ侵攻の今後の状況が不透明なこと等により、景気の回復は見込めない。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症対策の行動制限等の緩和により、サービス業を中心に経済活動は活発になると思われる。一方で、物価高騰の影響も懸念され、先行きは不透明である。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第8波の影響や諸物価高騰による消費の冷え込みが、景気のマイナス要因となる。
	▲	民間職業紹介機関（経営者）	・先の見えないウクライナ問題や全般的な物価上昇、円安に対する不安等から、地方では企業マインドが冷え込む傾向が強い。
	×	—	—